



ひやんで (とても) いいまち、五泉

— 五泉市 —

五泉市はこんなところ

新潟県のほぼ中央、新潟市の南東に位置しています。「五泉」の地名は、その昔「5つの泉が湧き出ているから」「5つの川が流れていたから」など、さまざまな説が言い伝えられており、良質で豊富な水資源に恵まれ、古くから絹織物の産地として知られています。

また、菅名岳・白山・日本平山などをはじめとした緑豊かな山々が広がる一方、早出川などの河川流域は平野部となっており、市街地・田園が広がっています。豊富な水と肥沃な大地を活かした農林業と、絹織物・ニットの繊維産業が基幹産業となっています。

絹織物は、江戸時代に袴地「五泉平(ごせんひら)」を織り出したのが始まりで、良質な絹糸を丹念に繰って撚りをかけ、織り上げる絹織物であり、水清らかな五泉ならではの独自の技術「濡れ緯(ぬれよこ)」を開発し、緯糸を濡らして織ることによって、組織くずれをおこさない緻密な織りと光沢、風合いを出しています。

また、戦後めざましい発展を遂げたニットは全国有数の産地であり、日本一の生産高を誇っています。

農作物では、稲作のほか、園芸作物も盛んであり、きめ細かな白肌と独特のぬめりで人気のさといも「帛乙女(きぬおとめ)」を中心に、肉厚で地肌の白いれんこん「五泉美人」、新潟県内最大の生産地である栗、大粒に実る銀杏、花きではぼたん、チューリップといった数多くの特産物を生み出しています。

五泉市の紹介動画

各QRコードは、ショートムービーとリンクしています。五泉の魅力あふれる動画をスマホ・タブレットでご覧ください。

【観光】



【産業】



【文化と歴史】



春 ～かわいいお花が歓迎します。～

春は、市内の花々が順番に見ごろを迎える花のラリーで彩られます。

春の訪れを知らせる「水芭蕉」から「桜」、「チューリップ」に「ぼたん」と次々に見ごろを迎え、市内を鮮やかに彩ります。例年は開花時期に合わせてイベントなども実施されるため、多くの観光客が訪れます。

また、見て楽しむだけでなく、チューリップの球根やぼたんの鉢植えなどの産地としても有名で、「花のまち」と呼ばれています。なかでも、日本さくら名所100選にも選ばれている村松公園にある『ごせん桜アロマ工房』では、八重桜から抽出した桜の天然エキスを使った化粧品や食品を販売しており、新しい花の利活用方法として注目されています。



夏 ～清流のせせらぎに心が躍ります。～

夏は、市内さまざまな場所で夏の自然の恩恵を受けることができます。

川遊びの定番「太川橋」からは、SLばんえつ物語号が通る「早出川橋梁」を臨むことができ、爽やかで素晴らしい時間を過ごすことができます。

また川内地区の自然を満喫できる「仙見川ふるさとづくり河川公園」は、昨今のキャンプブームでアウトドアを楽しむ観光客で賑わっており、思いの『非日常のひととき』を楽しんでいます。ほかにも、「東光院ふれ



あい公園)や「杉川溪谷」など、おだやかな清流を楽しめる場所がたくさんあります。

秋 ～見るものを圧巻する黄金の里～

秋は「早出川ダム」「村松公園」で紅葉を楽しむことができ、中でも古刹・慈光寺を擁す蛭野地区は県内でも銀杏の産地として有名で、集落には100本以上の銀杏の木が植えられ、黄葉時期になると一面が黄金色に染まることから「黄金の里」と呼ばれています。

銀杏は樹齢200年～600年といわれる巨木が多く、雄大な白山を背景に黄葉が広がるのどかな田園風景は、秋の五泉市を代表する景色のひとつです。黄葉の見ごろは例年11月中旬から下旬です。



温泉 ～美肌の湯『咲花温泉』～

美肌の湯「咲花温泉」のお湯は「弱アルカリ性」の「硫黄泉」で、さらに「硫酸塩泉」成分も含まれており、美肌に効果がある4つの条件のうち、3つを満たす欲張りな温泉です。

温泉の温度や外気温によって「透明」、「エメラルドグリーン」、「緑」、「乳白色」とお湯の色が美しく変化するのも特徴です。阿賀野川の雄大な景色を臨みながら浸かる露天風呂は圧巻で、『癒しの時間』を楽しむことができます。



食べ物 ～清らかな水で育まれた特産品～

市内に3本の川が流れ、とても良質な水資源(地下水)を有しており、それを活かして栽培した極上の農産物が収穫されます。なかでも特産里芋「帛乙女(きぬお



とめ)は首都圏の高級料亭でも使用されるほど高い評価を得ている逸品で、きめ細やかな白い肌と、やわらかでなめらかな食感が特徴的です。他にも、「れんこん」や「くり」といった特産品があります。

ラポルテ五泉

五泉市に「にぎわい」と「憩い」をコンセプトとした新たな交流拠点複合施設、ラポルテ五泉がオープンしました。施設内は、500席の多目的ホールを備えた生涯学習エリアのほかに、地元の特産物を販売する産直ショップや軽食を提供するカフェテリアがある産業振興エリア、木造建築を活かした子ども向けの屋内遊具などを設ける共用エリアに分かれています。また、約160台収容できる駐車場と、夜間に利用できる24時間トイレもあるので、気軽に立ち寄ることができます。



五泉市村松郷土資料館・民具資料館

江戸時代には、堀家三万石の城下町として栄えた村松。

五泉市村松郷土資料館は、かつて堀家が村松藩を治めるために政務を行った村松城跡地に、昭和59年に開館しました。

資料館では、村松藩や堀家ゆかりの資料をはじめとして、村松の歴史や文化、産業などあらゆる資料を収蔵し、展示を行っています。

1階展示室は村松藩について、2階展示室は、かつて村松を中心にこの周辺の地域を結んだ蒲原鉄道や産業、文化について紹介しています。また、別棟の民具資料館は、かつて人々の暮らしを支えた生活道具や農具などを展示しています。

